

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立安登小学校
(安浦中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	—	—
令和5年度	+7.8	+3.5
令和4年度	+1.4	-1.2

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 <u>75%</u> 全国 <u>67.2%</u> 県 <u>69%</u></p> <p>話すこと・聞くこと</p> <p>書くこと</p> <p>読むこと</p> <p>言葉の特徴や使い方</p> <p>情報の扱い方</p>	重点課題	◎図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。 (設問1二)【書くこと】(平均正答率45%) ◇問題文の読み取りができず、条件を満たした解答ができていない。
	改善の方策	◎読み取った文章に対して、型や条件を提示して自分の考えを主述の整った正しい文章で条件に沿ってまとめる練習を積み重ねさせるとともに、自分の書いた文章を読み直す習慣を付けさせる。 ◇大事なところに線を引きながら読む習慣をつけ、問われていることの見落としがないようにする。
	検証	◎◇全国学力(設問1二)(第5・6学年,2月)目標60%→結果73%
<p>算数</p> <p>本校 <u>66%</u> 全国 <u>62.5%</u> 県 <u>64%</u></p> <p>数と計算</p> <p>図形</p> <p>データの活用</p> <p>変化と関係</p>	重点課題	◎高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に、面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて説明することに課題がある。 (設問2(4))【図形】(平均正答率15%) ◇基本的な平面図形の性質を正しく理解し、あることがらが成り立つことを、筋道を立てて説明することに課題がある。 (設問2(3))【図形】(平均正答率25%)
	改善の方策	◎面積を求めるために必要な要素を自分で読み取ることができるよう、様々な形式の問題を解く活動を設定する。また、図形を構成する要素などに着目し、面積の求め方から面積の大きさを判断して、その判断の理由を説明する活動を設定する。 ◇図形の作図や角度や面積を求める問題に繰り返し取り組ませて基本的事項の定着をはかる。また実態に応じて、穴あきや選択問題として提示し、筋道立てて説明する経験を積ませる。
	検証	◎◇全国学力(設問2(3)(4))(第5・6学年,2月)目標50% →結果 設問2(3)85%, 設問2(4)70%

【来年度に向けて】

- ・条件に合わせて記述をさせたり、自分の考えを筋道立てて説明させたりする活動を継続的に行う。
- ・児童の課題に合った手立てを考えて職員間で交流し、授業改善に生かす。
- ・個別指導が必要な児童に対して、継続的な指導を行う。